

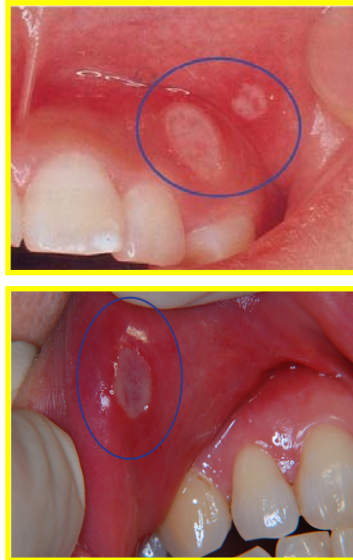


新年明けましておめでとーございます。  
昨年同様、本年もご愛読のほどよろしく  
お願い致します。

さて、本年初となる今回の通信では、  
皆さまも悩まされたことがあるのでは  
ないでしょうか「口内炎」について述べ  
たいとおもいます。

口内炎といっても、たくさん種類が  
ありますので、今回はもっとも多く見ら  
れる「アフタ性口内炎」を取り上げたい  
と思います。

## アフタ性口内炎とは



右の写真のようにアフタ性口内炎は、  
口腔粘膜にできる直径5ミリ程度の灰  
白色の潰瘍です。痛みを伴い悪化すると  
出血することもあります。通常は1〜2  
週間程度で自然に完治しますが、重度の  
ものでは、痛みのあまり摂食不能になる  
こともあります。

## 原因

このアフタ性口内炎、発症の原因は現  
在でもはっきりとはわかっていません  
が、考えられている原因としては

- ・ 栄養の偏り
  - ・ ビタミンの不足
  - ・ ストレス
  - ・ 睡眠不足
  - ・ 口腔内が不衛生
  - ・ 口腔の乾燥
  - ・ 抵抗力の低下
- などがあがっています。



## 治療法について

基本的には、歯科や耳鼻咽喉科で診て  
もらえます。

- ・ 軟膏の塗布
  - ・ 薬剤を含んだパッチを張る
  - ・ ビタミン剤の投与
  - ・ レーザー治療 などがあります。
- 軟膏は患部に直接塗ることによって空気や雑  
菌などの外部との接触を遮断し、痛みも  
軽減されます。張り薬も同様。

また殺菌作用のあるうがい薬も効果  
的です。

ちなみに当院では、口内炎の痛みを改  
善するものとして、「ケナログ口腔  
用軟膏0・1%」「イソジンガーグル液  
7%」を処方しております。

## まとめ

口内炎の治療で、いちばん大切なのは、  
何よりも「口腔内を清潔に保つこと」で  
す。口の中には、数百種類の雑菌が存在  
し、不潔にしていると菌が増殖し、口内  
炎が長引く場合があります。

歯磨きをきちんと行いイソジンなど  
の殺菌作用のあるうがい薬で、ブクブク  
うがいをしてお口の中を清潔にしまし  
よう。

## 最後に（口腔がんのおそれ）

これは実際に当院であった話ですが、  
在宅の患者様の口腔内に口内炎と思わ  
れる潰瘍ができていて、ケナログ塗布を  
数回行ったが改善がみられずむしろ潰  
瘍が大きくなっていました。心配に思っ  
た歯科医が口腔外科への受診を勧めま  
した。すると検査の結果その潰瘍は**口腔  
がん**であることが判明しました。

口内炎の中にはまれに口腔がんに進  
行する場合があります。しかし早期発見  
すれば95%の確率で治ると言われて  
います。万が一のためにも定期的に歯科  
医のチェックを受けましょう。

